



2025年1月23日

各位

会社名 株式会社ジーエヌアイグループ  
代表者名 取締役代表執行役社長兼CEO イン・ルオ  
(コード番号: 2160 東証グロース)  
問合せ先 取締役執行役 CFO 北川 智哉  
(TEL. 03-6214-3600)

### 主要子会社 Cullgen が開発する急性及び慢性疼痛を対象とした TRK 分解剤 CG001419 の第 1 相臨床試験（被験者投薬）開始についてのお知らせ

株式会社ジーエヌアイグループ（以下「当社」、当社の子会社及び関連会社を含めて「当社グループ」）の連結子会社である Cullgen Inc.（以下「Cullgen」）は、2025年1月22日に疼痛治療用の初の経口 Pan-TRK タンパク質分解剤の可能性を評価するために、オーストラリアにて被験者への投与を開始しましたのでお知らせいたします。

この第1相臨床試験は約70名の被験者を登録し、2025年第3四半期に試験が完了する見込みであり、その後グローバル試験へと移行する予定です。

急性及び慢性疼痛を対象とした TRK 分解剤である CG001419 は、変異型及び野生型の TRK タンパク質の両方を選択的に分解するように設計された高活性小分子です。痛みの治療において、他の医薬品療法に伴う依存症のリスクを軽減する可能性があるファーストインクラスの疼痛シグナル阻害剤の一部となり、新しい非オピオイド、非 NSAID 鎮痛療法としての提供を目指しております。

Cullgen のプレスリリースは以下の通りです。

<https://www.cullgen.com/cullgen-begins-phase-1-dosing>

この中で、当社及び Cullgen の CEO であるイン・ルオは、以下の通り述べております。

「計画どおり、主力候補である CG001419 を 2 回目の臨床試験に導入できることを嬉しく思います。このタンパク質分解剤プログラムは現在、2 つの異なる適応症で臨床試験中です。Cullgen は、複数の高活性、選択性、生体利用性標的タンパク質分解剤化合物のポートフォリオを構築に成功裏に開発してきました。治療分野全体にわたるこれらの分子の探索は、次世代の標的タンパク質分解剤の追求におけるリーダーになるという Cullgen の目標と一致しています。」

標的タンパク質分解誘導技術は、Cullgen 及び当社グループの将来的な発展を可能にする重要な技術です。当社は、今後も Cullgen を全面的に支援し、患者の皆様新たな治療の選択肢を提供するとともに、当社グループの創薬事業の発展を目指してまいります。

なお、本件による当社の今期連結業績に対する影響は、軽微です。

(上記参考訳と原文の間に内容の相違がある場合は、原文の内容が優先しますことをご了承下さい。)

以上